【参加者募集】東日本大震災・原子力災害伝承館

第１回学校教員研修会（モニターツアー）

2020年11月28日（土）・29日（日）

「3.11について子どもたちに教えたいが、何からはじめればよいのかわからない」

「自分自身がよくわかっていない。日々の校務に時間を割かれて準備もできない」

「学校内に前例が無く、管理職や同僚の理解が得にくい」

3.11に関する教育に、思い・熱意があっても、はじめの一歩を踏み出せないままでいる先生方は福島県内外問わず少なからずいます。そのような状況にある学校教員が、3.11後の福島と復興の現状を知り、福島第一原子力発電所周辺地域を実際に歩き、3.11に関する教育について考え、実際に教育プログラムを組み立てることにつながる機会をつくれないか。

2020年9月20日にオープンした東日本大震災・原子力災害伝承館では、この度、学校教員向け研修会を開催することになりました。施設見学、語り部講話、被災地のフィールドワークを通して、幅広く・継続的に東日本大震災・原子力災害の伝承の機会を拡大することを目的としています。単に知識を得るだけではなく、実際に授業で防災や復興、放射線等に関する教育を実施した経験のある教員との交流の場も設けます。プログラム全体のコーディネートは立命館大学准教授で当館上級研究員の開沼博が務めます。

どうぞご参加ください。

・参加対象　福島県内外の学校教員等（小中高校の教員がメインだが、その他も応相談）

・開催日時　2020年11月28日（土）・29日（日）

・開催場所　東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39）及び浪江町・双葉町・大熊町・富岡町・楢葉町・広野町でのフィールドワーク

・参加人数　２０名程度

・参加費用　５０００円（研修費、機材費、保険料等含む）
※宿泊費（1泊2食）については、今回モニターツアーとして実施するため補助事業により支出されます。参加者のご負担はありません

※自宅からの現地までの旅費は各自での負担をお願いします

・プログラム（予定）

28日（土）

（8:00上野駅発 ひたち3号 10:25いわき駅発 11:10双葉駅着）

11:30　東日本大震災・原子力災害伝承館集合・受付

11:45　開会式

12:00　東日本大震災・原子力災害伝承館による教育プログラム

展示見学・フィールドワーク・語り部講話・ワークショップ

16:00　参加者による感想共有・質疑応答・モニターアンケート記入

17:00　宿＠浪江町へ移動・チェックイン

17:30　レクチャー：開沼上級研究員「東日本大震災・原子力災害の現状と今後」

19:00　夕食、懇談会

29日

07:00　各自朝食

08:00　フィールドワーク出発・国道６号を南下（随時、開沼上級研究員による解説）

09:00　「東京電力廃炉資料館＠富岡町」見学

10:30　「特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま＠楢葉町」見学

11:00　ワークショップ

12:00　昼食

12:45　授業・教材事例研究

14:00　「天神岬＠楢葉町」見学

14:30　「Ｊヴィレッジ＠楢葉町・広野町」見学・解散

（14:54Ｊヴィレッジ駅発 15:00広野駅発 15:24いわき駅着 16:1同駅発 18:43東京駅着）

（16:26広野駅発 16:50いわき駅着 17:21いわき駅発19:44東京駅着）

・その他

・出張依頼文書等が必要な場合はご相談ください。

・プログラム内の夕食・宿泊・朝食について、不要な方は事前にお申し付けください。

・その他、途中参加・離脱を希望する方はご相談ください。

・参加希望者が多い場合は全日程参加可能な方を優先します。

・問い合わせ先

　公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

　東日本大震災・原子力災害伝承館

　企画事業部　事業課

　電話：(0240）23-4405

 FAX：(0240）23-4403